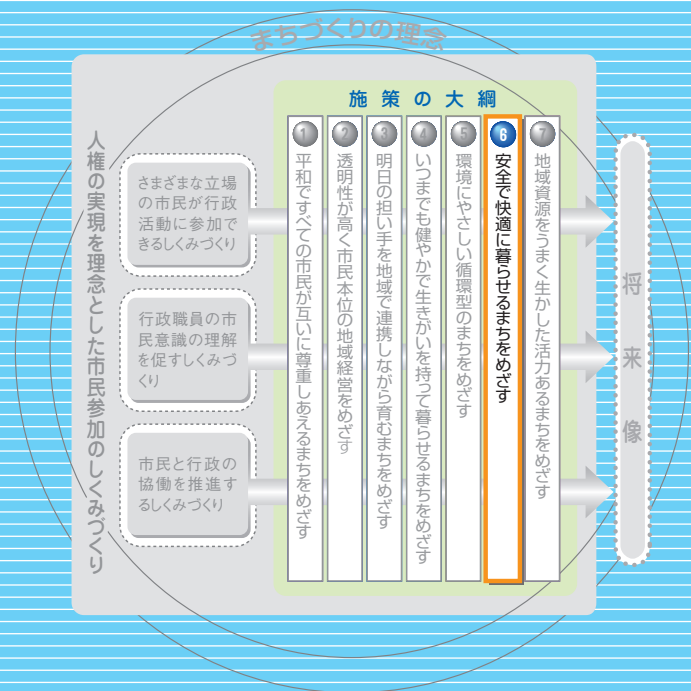


第2章 施策の大綱

第6節

安全で快適に暮らせる まちをめざす



1 危機管理の行き届いたまちづくり

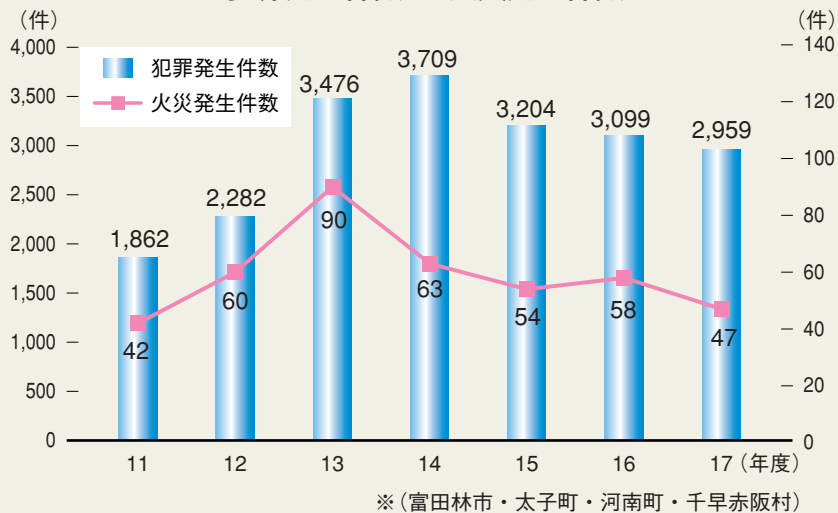
■時代潮流と背景

- 近年、我が国では凶悪な犯罪が発生するなど、地域の治安の悪化が懸念されています。
- 東南海、南海地震の発生など、自然災害の危険性が高まっており、地域が一体となって対応する必要性が高まっています。
- S A R S（重症急性呼吸器症候群）、新型インフルエンザ、個人情報の漏洩など、市民の生活を脅かすさまざまな問題が懸念されています。

■富田林の現状と課題

- 公共施設の耐震化をはじめ災害に強いまちづくりや、消防や救急体制の充実を図っています。
- 市民レベルでの防災コミュニティ^{※1}づくりや防犯対策なども進められつつあります。
- 施設や都市基盤の老朽化が進むなか、より一層、災害に強いまちづくりを推進するとともに、危機管理に対する市民や地域主体の取組みを活性化していく必要があります。

犯罪発生件数[※]と火災発生件数



※1 住民や事業所、行政などが協力し合って、災害に強いまちづくり、地域づくりをめざし、防災活動に取り組む地域社会。

方向と目標

<方 向>

- 震災などの自然災害や多様化、複雑化する社会問題など、地域が抱えるさまざまな危険性に対し、市民や行政などが適切に役割を分担し、連携しながら、危機に強い都市構造と地域づくりを進めます。

<目 標>

- 危機事象を想定し、でき得る限り事前の予防策が講じられているとともに、発生時にはいち早く対応し、被害を最小限に食い止めることができます。
- 市民一人ひとりの危機管理への意識が高まり、地域社会が一体となって連携し、予防と対応ができる危機管理体制が整っています。

目標を実現するための施策

① 防犯対策の充実

- 地域社会における市民の防犯意識を高めながら、犯罪の起こりにくいまちづくりに取り組みます。

② 防災対策の充実

- 震災などの災害の危険性が高まるなか、市民や各種団体の参加と協力を得ながら、災害が発生しにくい、また災害時における被害の少ないまちづくりを進めます。

③ あらゆる危機への対応

- 従来では想定されていなかったような新たな危機に対しても対応できるよう危機管理体制の充実に取り組みます。

① 防犯対策の充実

施策の現状

- 市民や各種団体の主体的な取組みのもと、警察などの関連機関と連携しながら、犯罪の起こりにくいまちづくりに取り組んでいます。
- 防犯看板の設置、防犯教室の実施、街頭キャンペーンなどを実施し市民の防犯意識の高揚を図っています。
- 子どもの安全についての情報を、携帯電話を利用して知らせています。
- 地域のボランティアにより、子どもの安全を守る活動が行われています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 防犯委員など市民主体の防犯組織の育成、充実を推進します。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 警察や防犯委員会などと連携し防犯意識の啓発や防犯教育の推進を図ります。• 犯罪の起こりにくいまちの環境づくりを行います。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 町会や自治会のパトロールなどの市民主体の防犯活動を支援します。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• 夜間の安全を確保するための防犯灯の整備を支援します。	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

② 防災対策の充実

施策の現状

- 震災などの災害の危険性が高まるなか、災害に強い都市構造や施設整備、消防や救急救命体制の強化を進めています。
- 市民や地域の防災意識を高めるため、ハザードマップ^{*1}を作成しています。
- 地震、風水害などの応急対策や災害復旧や復興の手順を定めた地域防災計画を策定し、災害発生に備えています。
- 住宅などの耐震化を促進するため、耐震診断を支援しています。
- 浸水対策を実施してきています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none"> • 災害発生時に市民が自分の身を守り、また被災者の救出など互いに協力できるよう、さまざまな訓練や啓発を行います。 • 防災活動のリーダー育成や自主防災組織の設置を支援します。 • 住宅火災から市民の生命や財産を守るため、住宅用火災警報器の設置を促進します。 	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none"> • 関係機関と連携して防災や救急救命の体制を強化します。 • 災害時の備蓄資材の確保や避難誘導看板の充実を図ります。 • 土砂対策、急傾斜地の安全対策を促進します。 • 住宅などの耐震化を促進するとともに、災害に強いまちづくりに取り組みます。 • 地域防災計画の周知と随時見直しを行います。 	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none"> • 地域のつながりを活かした防災コミュニティづくりを推進します。 • 防災情報や災害の発生情報を地域に知らせるしくみづくりを進めます。 	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none"> • 消防緊急通信指令システムや消防資機材の充実を図り消防力を強化します。 • 関係機関と連携してライフラインの耐震化を計画的に進めます。 	資源循環を推進する
<ul style="list-style-type: none"> • 情報収集、伝達機能の強化など、消防防災体制の充実を図るため広域的な取組みを検討します。 	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

※1 自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。

③ あらゆる危機への対応

施策の現状

- SARS（重症急性呼吸器症候群）や新型インフルエンザ、個人情報漏洩など、新たな市民生活を脅かす危機に対応する体制づくりに取り組んでいます。
- 市民の避難誘導などを定める国民保護計画を策定しています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• あらゆる危機に対して危機管理体制を強化し、市民の安全を守ります。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 関係機関と連携して、危機に対する啓発活動の推進やリスクマネジメントシステム^{*1}の構築を図ります。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 町会や自治会、自主防災組織、防犯委員などと協力し、連絡体制を強化します。	地域のつながりを活かす
	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

※1 被害や危機的な事態が発生することを前提として、危害、損失などの発生を回避し、また低減するためなどのしくみ。



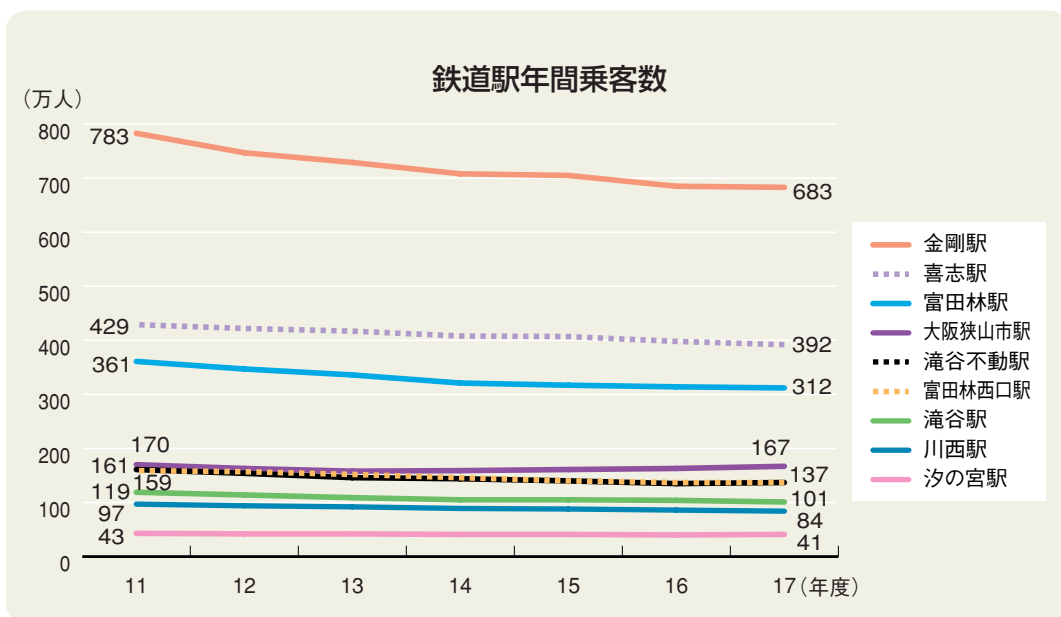
2 安心して移動できるまちづくり

■ 時代潮流と背景

- 高齢化が進むなか、だれもが安心して移動できるバリアフリーの推進が求められています。
- 生活スタイルの変化などにより公共交通の利用者が減少するなかで、公共交通分野での規制緩和が進み、事業者の参入や撤退が自由化されたことで、地域での交通手段をいかに確保していくかが問題となっています。
- 利便性の向上や公共施設の利用率向上のため、コミュニティバス^{※1}などに取り組む自治体や地域が増えています。

■ 富田林の現状と課題

- 東西を結ぶ道路など、都市の骨格となる幹線道路網の整備を進めてきましたが、東西交流によるまちの活性化を図るためにも、富田林駅と金剛駅を直結するバス路線の整備が望まれています。
- 鉄道、バスなどの公共交通について、民間事業者との役割分担も考慮しながら、市民にとって便利で効果的な、環境に配慮した交通体系の形成が求められます。
- 歩道の段差改修、点字ブロックやカーブミラーの設置など、安心して安全に移動できるように、鉄道駅や道路などの公共空間のバリアフリー化や安全対策を進めています。



※1 市・区・町などの自治体が住民の移動手段を確保するために運行するバス。

方向と目標

<方 向>

- 高齢化が進むなか、だれもが利用しやすい公共交通網の整備と、道路網や交通環境全体のバリアフリー化などを、都市計画や防災に配慮したまちづくりの視点から進めます。

<目 標>

- 東西を結ぶ公共交通が整備されるとともに、だれもが気軽に安心して外出し、移動できる手段が確保されています。
- 道路や公共交通のバリアフリー化や安全対策が進められ、交通事故などの件数も減少しています。

目標を実現するための施策

① 交通網の充実

- まちの骨格を形成し、人々の移動や物流を担う幹線道路や鉄道、バス路線の整備を関係機関との連携を図りながら進めます。

② 交通環境の整備

- 日常生活や地域コミュニティを支える空間として、また市民ニーズに対応し、安全で移動しやすい交通環境の整備を進めます。

③ 交通安全の推進

- 交通事故が未然に防止され、安全、安心かつ快適に生活できるように、交通安全啓発活動に取り組みます。

① 交通網の充実

施策の現状

- 幹線道路の整備など道路網の充実を進めています。
- 市西部の金剛地区と近鉄富田林駅を結ぶ交通網を補完するとともに、公共施設の利用を促進するためにレインボーバスを運行しています。
- 総合スポーツ公園、農業公園、斎場、墓地公園の利用者の交通手段を確保するため、民間バス事業者に支援を行っています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">・富田林駅前の総合的な整備を実施し、駅の利用者の利便性と安全性を高めます。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">・東西交通の確保や交通不便地域の解消に、関係機関と連携して取り組みます。・バス、鉄道などの公共交通の維持、充実を図ります。・歩行者や自転車が安全で円滑に移動できるまちづくりを進めます。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">・地域の協力を得ながら幹線道路網の整備を進めます。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">・環境にやさしい低公害車や小型バスの導入や乗合いタクシーの普及など、公共交通の利便性の向上により、一般車両の利用の抑制を図ります。・公共交通をはじめ、既存の各種送迎サービスを含めた、効果的な輸送サービスについて研究を進めます。・近鉄長野線連続立体交差化を、長期的視点に立ったまちづくりとして研究します。	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

② 交通環境の整備

施策の現状

- 安全で快適に移動できるように道路の舗装や構造物の維持補修を実施しています。
- 高齢者、障害者などの移動の負担を軽減し、安全性を向上させるために、歩道の段差解消などを実施しています。
- 市民とともに富田林駅と富田林西口駅及びその周辺の交通等バリアフリー基本構想策定^{*1}に取り組んでいます。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 道路の美化や清掃など、市民と協働した活動の推進を図ります。• 交通等バリアフリー基本構想の策定を、市民の参加により行います。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 道路や公共交通の安全対策や歩道の段差解消などを進めます。• 高齢者や障害者などにやさしい低床バスの導入を促進します。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 交通等バリアフリー基本構想の策定やそれに基づく改修工事などを、関係機関と協力して実施します。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• 安全で快適な移動ができるように、道路の維持補修や改良を進めます。	資源循環を推進する
<ul style="list-style-type: none">• 道路情報の効率的な運営をめざし、大阪府内の各自治体や公益事業者との連携を図ります。	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

※1 鉄道駅と周辺の道路などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するための計画。

③ 交通安全の推進

施策の現状

- 放置自転車対策として駅前自転車駐車を整備しています。
- 交通安全教室や運転者講習会などを開催し、市民の交通事故防止に努めています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">交通安全や迷惑駐車、放置自転車などに対し市民の意識を高めるため啓発を実施します。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">利用者の需要動向を見ながら、駅前自転車駐車の整備を進めます。子どもの交通安全に配慮した通学路の対策を行います。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">各種団体と共同して交通安全キャンペーンなどの交通安全啓発を行います。	地域のつながりを活かす
	資源循環を推進する
<ul style="list-style-type: none">指定管理者制度の導入を図り効率的な自転車駐車の管理運営をめざします。	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める



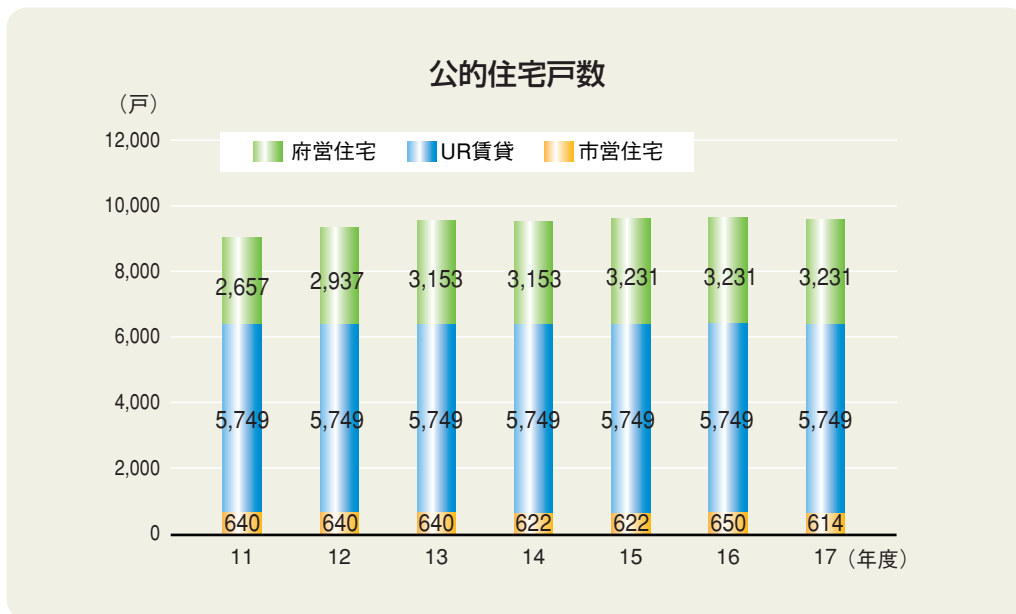
3 富田林らしい都市空間づくり

■ 時代潮流と背景

- 我が国では、どこの都市に行っても同じようなまちなみが広がるなど、地域の個性を活かした都市計画やまちづくりが不十分であったと言われています。これからは、景観法の制定などを背景に、地域の風土や歴史を活かした、個性あるまちづくりを進めていくことが求められています。
- 人口減少社会に転じるなか、既存の資源の有効活用の視点が求められています。さらに、まちの郊外に分散した都市機能を、まちの中心部に戻そうという動きが広がっています。

■ 富田林の現状と課題

- 大阪の郊外住宅都市として人口が増加し、都市基盤や施設の量的拡大を進めてきましたが、人口減少に転じた現在、より富田林らしさを活かしたまちなみや都市景観づくり、社会の高齢化や少子化に見合った都市機能の見直しなど、生活者の視点に立った質の高い生活空間づくりを進めていく必要があります。
- 市民や商工団体が主体となった賑わいに向けた動きが始まっていますが、魅力ある都市空間の形成をめざして、こうした活動をより一層活性化していくことが求められます。



方向と目標

<方 向>

- 地域ごとの特性や個性を活かしながら、市民のライフスタイルや生活ニーズに対応した、質の高い都市空間の形成を進めます。

<目 標>

- これまで蓄積されてきた都市機能や地域資源を有効に活用しながら、交流が盛んな活気ある住まいの空間やコミュニティが形成されています。
- 恵まれた自然と調和した、富田林らしい景観が広がっています。

目標を実現するための施策

① 計画的な土地利用の推進

- 土地利用や都市施設などに係る計画を定め、土地利用の規制や誘導を図ります。

② 富田林らしい景観の整備

- 市民が自らのまちを誇りに思い、将来に伝えていきたいと心から思えるようなまちなみや景観づくりを、地域と協働して取り組みます。

③ 住まいの充実

- 地域の特性を活かした、市民主体の魅力ある住まいの環境づくりを進めます。

④ 駅前等の賑わい再生

- 市民の日常生活における移動の要となる鉄道駅の周辺において、賑わいのあるまちづくりを進めます。

① 計画的な土地利用の推進

施策の現状

- 土地利用や都市施設などの計画を総合的、一体的に定めた都市計画マスタープランを策定し、土地利用や開発などの規制、誘導などを図っています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 土地利用などの計画の策定や見直しにおいて、市民の意向を把握し、提案を活かす手法を取り入れます。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• まちづくりの理念や都市整備の方針などを定めた都市計画マスタープランに基づき、計画的なまちづくりに取り組みます。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 地域のつながりやまとまりを大切にできるように、計画的な土地利用を図ります。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• 市街地内の農地や緑地を計画的に保全します。	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

② 富田林らしい景観の整備

施策の現状

- 地域と行政が協力しながら歴史や文化、自然環境の特性を活かし、良好な都市景観の形成に努めています。
- 重要伝統的建造物群保存地区である富田林寺内町の景観保全や修景を進めています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 景観計画の策定に向け、まちの景観づくりに市民が関心を持ち、参加できるしくみを整えます。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 望ましい景観形成のため、関係機関との連携を進めます。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 市民や地域の協力を得ながら、貴重な景観の保全と活用できるしくみを整えます。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• 嶽山や石川などの自然景観の保全に努めます。• 自然を取り入れた都市景観の形成を図ります。	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める



③ 住まいの充実

施策の現状

- 便利で安全安心な住まいの環境を整えるため、公営住宅の整備を行っています。
- 民間住宅などについて、良好な住まいづくりへの誘導を図っています。
- 全住宅数に占める公的賃貸住宅の比率は大阪府内でも高くなっています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 建築協定制度^{※1}などを活用し、市民主体の住まいの環境づくりを支援します。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 高齢者や障害者などが安心して暮らすことができるように市営住宅のバリアフリー化を進めます。• 良好な住まいの環境づくりを関係機関と連携して進めます。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 人のつながりや地域コミュニティを念頭においた住まいの環境づくりを進めます。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• 公的住宅の比率が高いなかで、市営住宅の住まいの質の向上をめざします。	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

※1 市町村の区域の一部について関係権利者が合意のもとに建築物の敷地や構造、用途、形態、意匠などについて定める協定。

④ 駅前等の賑わい再生

施策の現状

- 富田林駅南地区、滝谷不動駅前地区などで、市民が主体となった賑わいのあるまちづくりに向けた取組みが始まっています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">・ 駅前の賑わいを取り戻すため、市民が主役のまちづくりを支援します。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">・ 関係機関と連携しながら、駅前の活性化を進めます。・ 富田林駅南広場の整備や道路の改修などを進め、ゆったりと買い物のできる空間を整備します。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">・ 地域の商工団体や大学などと連携し、活性化を進める環境づくりに取り組みます。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">・ 寺内町と一体となった富田林駅南地区で、中心市街地の活性化に取り組みます。	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める



